

令和4年度

中・読むこと部会の取り組み

中・読むこと部会では、令和3年11月19日に行われた政令指定都市中学校国語教育研究協議会名古屋大会に向けて、令和2年度から2年間、「BIO(バイオ)＝授業構想における3つの核」の考え方を取り入れて授業研究を進めてきました。

令和4年度は、これまでの研究成果と課題を踏まえ、さらに研究を深めていきたいと考えています。

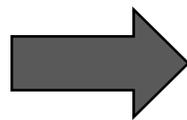
私たちが目指す授業

読むことの「おもしろさ・
楽しさ」を感じさせ、国語で
表現された内容や事柄を正確に
理解する力を高める授業

目指す授業に迫るために

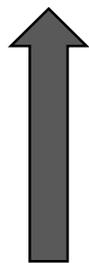
「おもしろさ・楽しさ」の明確化

子どもたちの「文章作品の意味・価値を見ようとする意識や見る力」の育成へつながる



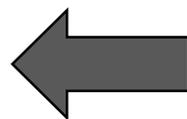
授業構想

3つの核 <BIO> とデジタル教材の開発・活用を組み合わせる



授業の検証

子どもたちの姿を基に、**授業構想**や**「見て取る」力**について議論する



授業の実施

子どもの発言・記述を**「見て取る」力**を重視する

授業構想における三つの核 <BIO>

B a s i c 7

7つの視点からの基本的読解

I I T O

Integration of individual task
outcomes = 個別課題追究成果の統合

O S 法 (= Overview sheet)

- 3つの核全てを単元に必ず盛り込む必要はない。
- 子どもたちの実態、単元のねらい、指導時数等に応じて取り入れる。

* デジタル教材の開発・活用

授業構想における三つの核 <BIO>

B a s i c 7

国語で表現された内容や事柄を
正確に理解させる

仕組み読み

文法読み

論理読み

教師からの一方的な伝達ではなく、

子どもとのやり取りを通じて行う

たぐり読み

語釈読み

リンク読み

レトリック読み

Basic 7 の例 (少年の日の思い出より)

| ページ | 行 | 表現 | 発問・投げかけ | 押さえないこと |
|-----|----|-----------------------------------|--------------------|---|
| 242 | 9 | すっかり暗く …ランプを 取ってマッチ をすった | そしたらどう なった？ | 窓全体が不透明な 青い夜の色に閉ざ されてしまった。 空間の閉鎖性。 |
| 243 | 10 | 友人 | これは誰のこ とを指している？ | 客・彼 |
| | | | どんな友人？ | 泊りにくるような 間柄 |
| 244 | 9 | 友人は…語っ た | 誰に何を語った の？ | 友人が「私」に少 年の日の思い出を 語った。 |
| | | | | |

授業構想における三つの核 <BIO>

I I T O

個別最適な学びと協働的な学びの
一体的な充実を図る

全体課題

作品全体を通して書かれている
ことを読み取るような課題

個別課題

個別課題

個別課題

- ・ 追究成果が全体課題について **考える際の根拠** となるように設定
- ・ 子ども自身が **初読段階で気になるであろう** 表現、展開等から設定できるように

授業構想における三つの核 <BIO>

O S 法

文章作品を、題名・表現・構成・設定等の
総体として捉えさせる

一目できる形で示す。**動的**に示す。

故郷 魯迅

厳しい寒さの中を、二千里の果てから、別れて二十年にもなる故郷へ、私は帰った。

帰郷【現在】

思い出【回想】

「おまえ」・ルントウの心は神
秘の宝庫

再会【現在】

「旦那様」・でくのぼうみたい
な人間

離郷【現在】

もともと地上に道はない。
歩く人が多くなれば、それが道
になるのだ。

呼称・例え
の変化

厚い壁

授業構想における三つの核 <BIO>

* デジタル教材の開発・活用

〔知識及び技能〕

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

漢字・語彙・文法の学習 など

(授業の始めの5分程の時間帯)

〔思考力、判断力、表現力等〕

C 読むこと 構造と内容の把握

**場面の展開や登場人物の
相関関係の理解** など

昨年度までの成果

Basic 7 色々な言葉や表現が**つながり**、読むことが面白くなった

IITO 興味のある課題の追究が**意欲的**な読みへつながった

OS 文章を一目して捉えることで、**文章の流れ**を捉えることができた。

読むことの「**おもしろさ・楽しさ**」を感じさせることができた

昨年度までの課題

- **3つの核 < B I O > の取り上げ方**
 - (例) 1年生はBasic 7を重要する
 - (例) 教師が課題を提示する→初発の感想を基に教師がコーディネートして生徒自身が課題を見いだす
- **生徒各々の課題を追究した結果を共有することができる発問や板書**
- **自分事**として捉えさせられなかった部会運営

課題を解決する今年度の取り組み

● 3つの核 < B I O > の取り上げ方

→ B I Oを取り入れた授業の年間計画の立案と実施
(R4・5年度の2か年)

● 各々の課題を追究した結果を共有することができる発問や板書

→ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、夏の半日研に向けての取り組み。発表

● 自分事として捉えさせられない部会運営

→ 部長を核にチームとしての運営、仲間づくり、ハイブリッド方式、授業研究部とのコラボ